

市の情報を発信中

西宮市ホームページ
HP 〇〇〇〇〇〇〇〇

記事内の8桁のページ番号を、市のホームページの検索ボックスに入力すると、該当ページをご覧いただけます



毎月10・25日発行/西宮市役所：〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) 編集/広報課 ☎0798・35・3400
配布/シルバー人材センター ☎0120・72・4833 《推計人口：48万4205人 世帯数：21万6902世帯/令和4年(2022年)3月1日現在》

これって なんの建物？

なんか見たことはあるんやけど...



市は、御前浜(西波止町)にある「西宮砲台」が、大正11年(1922年)に国の史跡に指定されてから100年を迎えたことを記念して、「西宮砲台」に「見て・触れて・体験する」さまざまな事業を実施します。

問 文化財課 (0798・33・2074)

知ってる？西宮砲台のこと

▶ 当時の軍艦奉行並「勝海舟」の進言から...

江戸時代末、異国船の軍事的脅威に対処するため日本沿岸部に台場(砲台)が築かれました。西宮砲台は、大阪湾防備のため大砲を据える石堡塔(せきほうとう)を土塁で囲む台場として、軍艦奉行並の勝海舟の進言(設計は佐藤政養)により慶応2年(1866年)に完成しました。今津にも同型の砲台が築かれましたが大正4年(1915年)に解体され、記念碑が残されています。

実は、石堡塔だけでなくフェンスの外の土塁なども含めて史跡なんです！



土塁(外郭) 石堡塔

▶ 築造当時の資料が残されています！

文久3年(1863年)8月に着工した西宮・今津の台場築造監督者の日記や、基礎工事に関する書類と図面などが残されています。



↓ 日記や図面が郷土資料館で見られる！

西宮市文化財保存活用地域計画をもとに 文化財の保存と活用を進めています

市が策定した、西宮市文化財保存活用地域計画では、西宮の歴史文化の特徴を分かりやすく伝えるための10のテーマを設け、関連文化財群として文化財の保存と活用を進めています。

関連文化財群のテーマ × 市外まで広がる広域のテーマ × 人や文化、ものづくり
市域を中心とするテーマ

広域×六甲山と大阪湾をめぐる石の文化
「幕末の騒乱、大阪湾防備と西宮砲台」

市域×ものづくり
「名塩御坊と名塩紙」

市域×行き交うひととの
「千年のまち、にしのみや」

など10のテーマを設定

HP63787736

▶ 計画やこのほかの関連文化財群のテーマについて詳しくは、市のホームページから確認できます



西宮の歴史を調べるならデジタルアーカイブ

市が所有する歴史資料(写真・貴重書・古文書)を「にしのみやデジタルアーカイブ」で公開しています。ぜひご活用下さい



史跡指定100年記念事業

市立郷土資料館特別展示 「御台場築造～西宮・今津の砲台」

【期間】7月16日(土)～8月28日(日)

【展示内容】築造現場の日記や図面、石材等



この夏は郷土資料館へ行こう！

文化財課
中谷学芸員

もっと西宮砲台に
「見て・触れて・体験する」
HP39751797

なぞ解きウォークやジオラマづくり、見学など子供が楽しめるイベントも実施予定！詳細は市HPや本紙5面で確認を



西宮徹底解剖(4月号)
月曜午後8時半～ HP54149619

未来につなぐ
にしのみやの文化財 放送中！

石堡塔と土塁を備える西宮砲台は、日本で唯一無二の存在です。こうした貴重な文化財は、市内に多数残されています。これからも、魅力ある西宮の歴史や文化を分かりやすく伝えていきます。地域で大切に伝承されてきた歴史資産を、ともに未来につないでいきましょう。



文化財課
俵谷課長

選挙結果

3月27日に行われた西宮市長選挙と西宮市議会議員補欠選挙の選挙結果をお知らせします。今回初めて記号式投票が採用されました。問合せは選挙管理委員会(0798・35・3732)。



石井 登志郎 市長

石井 登志郎 市長が再選

任期満了に伴い、3月27日に行われた西宮市長選挙で、石井登志郎市長が再選しました。任期は4月15日から4年間です。3月28日に市役所で白井啓一西宮市選挙管理委員会委員長から石井市長に当選証書が付与されました。石井市長は平成30年(2018年)の西宮市長選で初当選し、今期で2期目。日野町、50歳。

当日有権者数	39万2625人
投票者総数	16万2067人 (うち有効投票 15万9826、 無効投票2241)
投票率	41.28%

確定得票数(敬称略)	
石井としろう	88,572
増山誠	49,158
吉岡政和	22,096

西宮市議会議員補欠選挙



坂本龍佑議員



宮本けいこ議員

市長選挙と同時に「西宮市議会議員補欠選挙」で坂本龍佑氏(弓場町、29歳)、宮本けいこ氏(津門稲荷町、42歳)が選ばれました。 ※50音順

記号式投票は、市条例により市長選(同日執行の市議補選も)のみで実施。国政選挙・知事選・統一地方選は自書式で実施されます